

令和 3年度 ( 2年度決算分) 高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	市民と行政がともに力を発揮できるまち	評価担当	局名	市民政策局
	政策	参画・協働によるコミュニティの再生		課(室)名	男女共同参画・協働推進
	施策	参画・協働の推進		電話番号	087-839-2275
	基本事業	協働事業の充実		事業実施主体	市
	事務事業	協働企画提案事業		事業期間	平成 28年度～令和 5年度

【事業全体概要】

事業の概要	市民活動団体等と高松市がより良きパートナーとして共に取り組み、社会的・公益的な課題を解決し、市民サービスの向上を目指すため、市民活動団体等の専門性・先駆性・迅速性を生かした提案を募集する。応募のあった提案事業は、選考の上、それぞれ実施する。協働関係課が連携しながら、また、外部アドバイザーの意見及びスキルも取り入れ、市の委託事業として平成 27年度に事業の見直しに取り組み、28年度から、実施団体と関係課の協議の充実、外部アドバイザーの活用による協働事業の質の向上を図り、事業に継続性を持たせる(最長2年)等の新たな取組を進める。
-------	---

3年度概要

重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型	ソフト事業(法律による実施義務無)
--------	----------	---------	-------------------

【事業の目的】

対象(何を)	高松市協働企画提案事業実施に関する要綱に規定する提案主体の要件を満たす市民活動団体等
意図(どのような状態にしたいか)	市民活動団体等が行政と協働事業に取り組むなかで、互いに協働への理解を深め、行政のより良きパートナーとして、また協働事業を推進し充実を図るための「協働の担い手」となることを目指すとともに、地域コミュニティ再生の一翼を担うことにつなげる。

【事業の活動】

活動指標名(具体的にどのような活動をしたか)	単位	H30	H31	R 2	R 3	中期目標 R 4
市民活動団体等との協議回数	回	8	8	2		8

【事業の成果】

成果指標	成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H30	H31	R 2	R 3	中期目標 R 4
	継続事業数	事業	目標値	30	31	31		30
			実績値	29	30	30		
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)							(達成度)
	令和2年度は協働企画提案事業終了後に事業化した事業はなく、継続事業数は増加せず、目標値を達成できなかった。	(目標達成度)	96.8%	33点				
	成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H30	H31	R 2	R 3	中期目標 R 4
			目標値					
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)							(達成度)
		(目標達成度)						

【コストの推移】

指標名	単位	平成 30年度(決算)	平成 31年度(決算)	令和 2年度(決算)	令和 3年度(予算)
トータルコスト	[円]	9,973	10,039	8,942	0
(事業費)	[円]	1,655	1,692	712	
(職員人件費)	[円]	8,318	8,347	8,230	0

【評価】

評価ランク (A~D)	A	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	廃止
-------------	---	---------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)

令和2年度の実施事業について、協働事業の内容と過程を充実させるため、事業実施中にアドバイザーを含め実施団体等と協議を行うことで事業の効果を高めた。

【今後の事業方針】(評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入)

令和2年度をもって事業を廃止し、本事業と本市類似事業との整理などを関係課と協議する。

令和 3年度 ( 2年度決算分 ) 高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	市民と行政がともに力を発揮できるまち	評価担当	局名	市民政策局
	政策	参画・協働によるコミュニティの再生		課(室)名	男女共同参画・協働推進
	施策	参画・協働の推進		電話番号	087-839-2275
	基本事業	協働事業の充実		事業実施主体	市
	事務事業	ボランティア・市民活動推進事業(男女共同参画・協働推進課分)		事業期間	平成28年度～令和5年度

【事業全体概要】

事業の概要	本市における市民活動の促進と協働の推進を図るため、高松市協働づくり懇談会による協働推進施策・コミュニティ施策の協議や、協働推進員への人材養成研修を行うなど、多様なパートナーシップによるまちづくりを推進する。		
3年度概要	特定非営利活動法人認証等事務 高松市協働づくり懇談会等開催 所属担当協働推進員研修等開催		
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の種類	


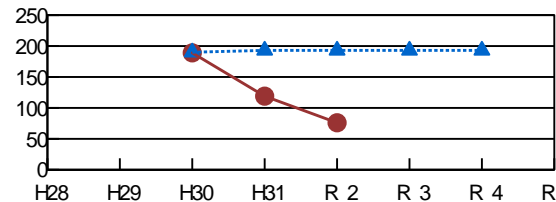

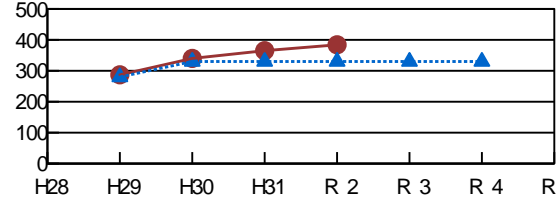
【事業の目的】

対象(何を)	市内に主たる活動拠点がある市民活動団体等 高松市職員
意図(どのような状態にしたいか)	市民活動の促進と協働の推進を図る。また、研修を通して、職員の協働への意識改革を図る。

【事業の活動】

活動指標名(具体的にどのような活動をしたか)	単位	H30	H31	R2	R3	中期目標 R4
所属担当協働推進研修実施回数	回	3	2	3	3	3
市民活動センター講座等数	回	44	43	31	36	36

【事業の成果】

成果指標	成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H30	H31	R2	R3	中期目標 R4
成果指標	所属担当協働推進研修受講者数	人	目標値	190	193	193	193	193
			実績値	189	119	76		
成果指標	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) 所属担当協働推進研修受講者数は、新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、令和2年度の3回の研修のうち1回を資料配布で対応したほか、他の2回の研修においても、新たに所属担当協働推進員となった者のみを対象に開催したため減少し、目標値を下回った。 		(目標達成度)					(達成度) 39.4%
				13点				
成果指標	市民活動センター利用登録団体数	団体	目標値	330	330	330	330	330
			実績値	340	365	384		
成果指標	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) 市民活動センター利用登録団体数は当初の目標値を上回った。 		(目標達成度)					(達成度) 116.4%
				35点				

【コストの推移】

指標名	単位	平成30年度(決算)	平成31年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(予算)
トータルコスト	[円]	7,000	7,183	6,663	4,403
(事業費)	[円]	2,841	3,010	2,548	288
(職員人件費)	[円]	4,159	4,173	4,115	4,115

【評価】

評価ランク (A~D)	B	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
-------------	---	---------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)

職員の協働への意識改革のために人材養成研修は欠かせないものであり、市民活動等に知識を有する講師を招いた研修を行うなど、効果的な実施に努めた。新型コロナウイルス感染症の影響に伴い研修の1回を資料配布で対応したほか、受講対象者を制限した。

【今後の事業方針】(評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入)

協働推進員の人材養成研修をより実効性を高める研修内容とすることで、市民活動団体等と多様なパートナーシップを構築できる能力を養成し、協働を推進するとともに、市民活動団体等の育成を目指す。また、NPO法人に積極的な情報発信を行うことで連携を強化する。

令和 3年度 ( 2年度決算分) 高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	市民と行政がともに力を発揮できるまち	評価担当	局名	市民政策局
	政策	参画・協働によるコミュニティの再生		課(室)名	コミュニティ推進課
	施策	参画・協働の推進		電話番号	087-839-2277
	基本事業	協働事業の充実		事業実施主体	市
	事務事業	ボランティア・市民活動推進事業(コミュニティ推進課分)		事業期間	平成28年度～令和5年度

【事業全体概要】

事業の概要	地域コミュニティ協議会と行政との協働によるまちづくりを推進するため、地域担当協働推進員をはじめとした市職員向けの研修を行う。		
3年度概要	地域担当協働推進員研修事業		
重点取組事業	市長マニフェスト	3-	事務事業の種類

【事業の目的】

対象(何を)	高松市職員
意図(どのような状態にしたいか)	研修を通して、地域コミュニティ活動に関わる職員の協働への意識改革を図る。また、同一地区内に住む職員のリーダー的な役割が担える人材に養成する。

【事業の活動】

活動指標名(具体的にどのような活動をしたか)	単位	H30	H31	R2	R3	中期目標 R4
地域担当協働推進研修実施回数	回	4	4	2	4	5

【事業の成果】

成果指標	成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H30	H31	R2	R3	中期目標 R4
成果指標	地域担当協働推進研修受講者数	人	目標値	260	200	220	240	220
			実績値	187	138	50		
成果指標	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) 新型コロナウイルスの影響により、集合形式の研修を実施することができず、地域担当協働推進員へのアンケートや、新任の地域担当協働推進員を対象とした面談を実施し、その情報共有に努めたが、研修実施回数及び受講者数ともに目標の達成に至らなかった。 (目標達成度)			(達成度)	22.7%	点		
成果指標	成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H30	H31	R2	R3	中期目標 R4
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) (目標達成度)							

【コストの推移】

指標名	単位	平成30年度(決算)	平成31年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(予算)
トータルコスト	[千円]	2,449	2,487	4,489	4,687
(事業費)	[千円]	180	211	0	198
(職員人件費)	[千円]	2,269	2,276	4,489	4,489

【評価】

評価ランク (A~D)	D	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	改善継続
-------------	---	---------------------------	------

【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)

令和2年度は、新型コロナウイルスの影響により、集合形式での研修は開催できなかったが、新任の地域担当協働推進員を対象とした面談を実施し、1人ずつ話を聞くことで、現在の悩みや今後のあり方等を詳しく聞くことができた。今後は、Web会議システムを利用した研修等、研修の方法についても検討する必要がある。

【今後の事業方針】(評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入)

新しい生活様式に合った研修の方法を検討するとともに、より実効性を高める内容とすることで、協働意識の向上を図り、地域に住む他の職員のリーダー的な役割を担える人材を養成する。また、地域の人たちにも、協働推進員に対する理解を深めてもらう機会もつくる必要がある。